

ガバナー 公式訪問

クラブ協議会

と き 平成 21 年 8 月 19 日(水)

ところ 飯能プリンスホテル

飯能ロータリークラブ

司会進行 / 木川一男会長

1. 開会のことば 木川一男会長
2. 挨拶 加藤玄静ガバナー
3. 委員会報告 年度計画書に基づき、
順次発表。

佐藤信男ガバナー補佐紹介 木川会長
S10年4月2日生まれ。学校法人佐藤学園
狭山けやき幼稚園・理事長。ロータリー歴：
S56年1月7日入会。26年5か月。

職業分類委員会 / 加藤義雄委員長
会員選考委員会 / 安藤泰雄委員
会員増強委員会 / 山岸敬司委員長
ロータリー情報委員会 / 矢島巖委員長
会報・広報委員会 / 吉澤文男委員長

佐藤信男ガバナー補佐講評

「職業分類」:「1業種5人」ということを尊重しながら会員の質を高めていきたいとのこと
たいへん立派なことだと思います。「会員選考」:
「四つのテスト」を精査して、それに合った人
でなければ入れないという、これも立派なこと
だと思います。これが出来れば、どこのロー
タリーも万々歳なのですが。「会員増強」も質
を精査して増強とのこと、立派なことだと思
います。「ロータリー情報」:「飲みながら」の
勉強会をやりたいのだと言っておられました。
本当に良いことだと思います。「会報・広報」:



テレビや新聞等のメディアを使う。これに尽
きるのではないかと思います。狭山RCでも
最大限にメディアを使おうと言っております。

プログラム委員会 / 大木重雄委員長
雑誌委員会 / 神田敬文委員長
クラブ奉仕委員会 / 新井景三委員長
出席委員会 / 丸山征夫委員長
親睦活動委員会 / 小川晃男委員長

佐藤信男ガバナー補佐講評

「プログラム」:プログラムが良ければ出席が
良くなるということです。出席委員会や会長、
幹事ともよく相談して面白いプログラムを組
んで頂ければ、自然に出席も良くなるのでは
ないかと思います。長年ロータリアンを続け
ていますと、楽しいプログラムだなと思う時
は必ず出席率も良いです。狭山の出席委員会
の人によく言うのは、長老に相談しなさい、
休みにくくなるようなコメントをして下さい、
ということ。「プログラム」と「出席」は切っ
ても切れない委員会です。頑張ってください。
「雑誌」:『ロータリーの友』以外にもいろんな
雑誌があります。電車に乗る時、私は週刊誌や
本を買って自分の知識として蓄えることがあ
ります。そんなことを発表しても良いのでは
ないかと思います。「出席」:委員長はMUの事
を言われました。私は東京に出ることが多い
ので、東京クラブ、その他に出席することがあ
るのですが、錚々たるメンバーが居ます。考
えられないような、近寄れないような人が会
員になっています。その人達とも自由に話
が出来るといのはロータリー以外にはおそ
らく無いのでは。ロータリーに入って良
かったとそんな時に思います。是非MU
を利用して頂きたい。「親睦活動」は
ロータリーの要です。プログラムと
相談しながら親睦を立ち上げて
頂ければ、より効果的な親睦計画が
出来るのではないかと思います。頑
張ってください。

..... 10 分間休憩 コーヒータイム

西川材プレート披露 高橋弘 S A A
こちらの木のプレートは、田中会員が製作、
吉田(行)会員が字を書かれた芸術作品です。

職業奉仕委員会 / 間邊元幸委員長
社会奉仕委員会 / 増島宏徳委員長
環境保全委員会 / 大河原康行委員
新世代委員会 / 吉田行男委員長
国際奉仕委員会 / 橋本茂委員長
世界社会奉仕委員会 / 小崎裕之委員長
ロータリー財団委員会 / 吉田健委員長
米山奨学委員会 / 萩野暁委員長

佐藤信男ガバナー補佐講評

「職業奉仕」：ロータリアンは職業を通じて奉仕するという大前提があります。今から 100 年位前、後藤新平という先生が、「人の世話にならぬよう 人の世話をすよう そして報いを求めぬよう」という言葉を発しておられました。私は時々その文章を見るのですけれども、そんな前にその言葉を言った人は大したものだなと思って、その人の経歴を調べてみました。台湾総督府民政長官や日本の内務大臣等もやった人です。これこそ「職業奉仕」なのではないかと思っております。補佐訪問の時にも触れましたが、自分の職業というのは他人のためにしているのだということです。他人の職業によって自分は生きている、平和に暮らせる。だから、自分の職業も他人のためにするもの、自分の欲のためにするものではないということなのではないかと思えます。会員事業所の家訓・社訓の特色を知りながらロータリーライフを進めようということだと思えますが、誠に良いことだと思えました。「社会奉仕」：「飯能水」は人間川の源流とのこと。飯能は 40 年位前、飲み水が非常に少なかったので飯能に家を建てるのはあまり好まれなかったと聞いていましたが、私の間違いでした。考えを改めます。「環境保全」：大変良いことを書かれていると思えます。「新世代部門」には「青少年交換委員会」というのがありますが、今年 7 月に第 1 次試験を通過した人が地区で 3 名、その 1 人が第 3 グループから合格します。その子は豊岡高校 1 年生女子。ホストクラブを第 3 グループから見つけなければいけませんので、よろしく願います。皆が遠慮してしまうホストクラブですが、見つからないと第 2 次試験で不合格になることがあります。何とか見つけたいと思っています。因みに来年は第 3 グループから 2 つのホストクラブが誕生するわけです。1 つは狭山、もう 1 つは 11 クラブから推薦したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。「国際奉仕」には「識字率向上」という目標があります。世界には 67 億人がおり、非識字の人が約 12 ~ 13 億人。貧困な家庭が多いということです。助けを求めることも出来ない、自分の使っている言葉でなければ聞くことも出来ない、と

いうことで、どうしても識字率を向上させなければ貧困も少なくなるのではないのか。そこで識字率の向上が叫ばれているのだと思います。それを考えると、やはりロータリー財団の助けを借りないとうにもならない。財団の助けを借りるには財団の足腰を丈夫にしなければならない。我々ロータリアンの寄付がないとうにもならないということです。ですから「年次寄付」「使途指定寄付」「恒久基金寄付」を頑張っ、て、目的を達成して頂きたいと思えます。よろしく願います。

4 . 総評

加藤玄静ガバナー

ガバナーになるためには昨年からのいろいろと研修会がありまして、その総まとめが 1 月の米国サンディエゴでの 11 日間のガバナーエレクト研修会です。そして帰国したらまた国内研修です。今は非常にメディアが発達していますから、夜、ホテルに電話が来るのです。「今日、国際会議の本会議、見たよ。」・ケニー RI 会長はこういうことを言ってたね」とか、私と同じことを既に見ているんですね。あれには驚きました。ガバナーエレクトは全世界で 540 名ですが会場には 1500 名位入るのです。そこにはエレクトとその家族、RI 関係役員、研修リーダー等が居る。壇上から「ロータリーの未来はあなたの手の手に」のテーマで話されるわけです。見た方は感じると思えますが外国人というのはスピーチが上手ですね。国連と同じように、RI における日本の地位は寂しいです。RI 理事が少なく発言が弱い。日本語は 7 番目の国際公用語で、同時通訳機をつけると 4、5 秒経って聞こえる。直訳で理解出来ないこともあります。財団の話が出ましたが、2 億 5 千 5 百万ドルをビル・ゲイツ氏が寄付。彼は壇上でキャップを被って「是非あなた達も同額を寄付してポリオ撲滅をやって頂きたい」と言うわけです。英語の分かる方はサッと立って拍手、スタンディング・オベーション。日本の 34 人はちょっとタイミングがずれる。

本会議が終わると 17 名ずつ小さい部屋へ入れて、セッションという形で、本会議について細かく意見交換をするのです。その時、英語の分かる同期のエレクトが、「研修リーダー、2 億 5 千 5 百万ドルと同額の寄付をしようということは実際には来年まで前回の 2 億ドルでよいのではないですか」とたずねた。すると「今の話は、2 億 5 千 5 百万ドルを寄付することによって来年までの目標のものを今年に切ってしまうと、今年から、また 2 年間でそれをやることになった。先程の本会議ではそういう話が決議されたのだ」ということでした。困っちゃいましたね。帰ってどうやって説明しようかな、と。財団のセミナーや PETS を開く時には非常に緊張しました。説明しようが無いのですから。だけど、私が地区で唯一の RI 役員ですから、決まった事は言わなけれ

ばならない。吉田(健)委員長には頭が下がります、皆さんにそうやって協力を求めて頂いて。本当は私が伏してお願ひしなければいけないのですけれども、たいへん助かりました。

そういうことで、ほとんどがRI理事会で決まってきました。それを我々が後で聞かされて地区でお話する。ですから、先程の会員増強にしても「純増1名」は簡単だと思うのです。しかし、その次が問題なのです。「会員維持率80%」。今、退会者が多いけれども、クラブで80%を維持してくれ、つまり20%辞められても「20%プラス1名」で純増して下さいという話なのです。実際に20、30名減るクラブは、それだけの同じ数を純増出来るかと言ったら絶対出来ません。出来ないというのは、いかに今、企業と商店主が悪いかということなのです。『ロータリーの友』を見て頂くと分かるのですが、34名のガバナーのうち半分の17名は企業者。後の半分は、医者と歯科医で8名、公認会計士・弁護士が3名、学校経営者・教授が3名、神社が1名、仏教が2名。つまり、17名が企業者で、17名がひとり男なのです。こういう者がガバナーを引き受けるというのは、いかに今の日本経済なり地方都市における経済状態が悪いかということだと思のです。我々がロータリーに入った頃は、坊さんや土(さむらい)の方は、会長にも、当然ガバナーにも居なかった。しかし、このように時代が変わってきた。大きな様変わりですから、これから増強する時にもいろいろ影響があると思ひます。しかし、本年度1年かかって、新しくクラブ拡大の予定が3つです。予定ですから決定はしていません。これを考えた時、私の使命はこの地区に1つクラブを拡大しろということなのです。とてもじゃないけれども、この状態で「飯能クラブには申し訳ないけれども人口の割合から言って、もう1つどうですか」と言える状態ではないですよ。妻沼が解散、上里は月2回の例会への変更が特例で認められた。RIも、クラブを減らしたり会員を減らすのが嫌なものですから認めるのです。最初に言った通り「ロータリーの危機」というものがあります。次なる世紀に向けてロータリーが残るかどうかということでもあるのです。

実際、皆さんの家庭は非常に恵まれていると思ひますね。健康的にもそうですし、夫婦、親子関係も上手くいっている。そしてもう1つ、家業がしっかりしているから良いわけです。家業と家庭がしっかりしている皆さんは非常に恵まれている。私が今、66歳。年金を貰い始めました。女房と私は国民年金ですから、女房は月4万円8千円。私が5万1千円。足して9万9千円、「きゅうきゅう」。語呂合わせではないですが苦しいですよ。これで私はやっているわけです。誰でも出来るガバナーというのを作ってみたい。金銭的に無くても身体が丈夫、ロータリーが好きでやる気があれば出来る。そういうガバナーをやってみたい

など思っているのです。皆さん方は家庭と家業がしっかりしているからロータリークラブに入ると思ひます。どちらかが駄目なら入っていない。ここにいる方たちは恵まれているわけですよ。それでロータリーに入って、一番大切な家庭と家業のある地域社会に対して何が出来るか。この社会の集まりとしての国際社会には何が出来るか。こういう考え方が出てくると思ひますね。そう考えた場合、皆さん方に自分のまちを知って頂くということが非常に大事なと思ひます。

何回も言うように、ロータリーの基本はクラブ、クラブの要は会員ですから、ここに居る63名の会員の方が「ロータリーが嫌だ」と感じたら欠席がちになって辞めていきます。しかし、私が会長になった時、一番やりたかったのは、例会のプログラムは会長の責任ということで、プログラム委員長を設けるけれども、会長の意向で組んで頂くということでした。国際ロータリー、日本のロータリー、地区、それらについて知っているパストガバナーをお呼びして「パストガバナー・シリーズ」という形で、例会で昔からの話を聴いていく。また、このクラブのように、沢山いらっしゃるパスト会長や45年前からのチャーターメンバー、30年間連続出席のメンバーから話を聴く。何で飯能にロータリーが出来たのか、30年前のロータリーは何をやっていたのか、バブルがはじけた頃のロータリーはどうだったのか等、歴史を素直に聴く。これがやはり勉強になります。12名の新人の方には早ければ9月に地区主催の会員オリエンテーションをさせて頂きます。そういう意味で、プログラムはロータリーの関係の話をお聴く。

同時に、異業種の方の集まりですから、お互いの卓話を聴けば自分にはない仕事の話をお聴けるわけですから面白いですよ。

それから先程、新人の方に聞いたのですが「ロータリーの事業に感銘して入りました」という人が少ない。「断れないから入りました」いろいろなお付き合いで入りました」等。でも、動機はどうあろうと、入った以上は年会費を払う会員であるだけでなく“ロータリアン”になって頂きたい。そのためにはクラブ奉仕委員会やロータリー情報委員会の中で勉強する。

同時に、ロータリーのことだけではなく、RCの組織や人脈で呼べる人にも卓話に来て頂く。例えば、身体が大事なことから、大きいお医者さんの院長に来て頂く。あるいはお盆やお彼岸には坊さんに来て頂く。いろいろあるわけですよ。お釈迦様の言うには「安楽解脱身(しん)」、「しん」と言うと「心」もありますが身体の方の「身」なのです。いくら知識があってもやる気があっても身体が丈夫じゃなかったら出来ないんだよということです。私もお盆を17日まで10日間やり、翌18日からは公式訪問です。本当に辛かった。1日か2日、出来ることなら休みたかったです。けれども



それは許されることではないのです。ガバナーを受けているのですから。本当に体調が悪ければ「今日は来れなくて申し訳ない」と迷惑をかけることになるわけですよ。やはり身体なのですね。いつどうなるか分からないのが我々の社会なのです。

そういう中で、皆さん方は家業(生業)の中で得たもので、新世代活動なり、社会奉仕なり、国際奉仕なり、財団なり、米山が出来るわけですよ。大変失礼な言い方かも知れませんが、私の経験から言いますと、仏教もロータリーも自分の未熟さを知らせてくれる場所なのです。私はロータリーに入って本当に自分の未熟さが判りました。もっと勉強すれば良かったと思いました。結局、それは、「蒔いた種が生える」という原則なのです。50回の例会にアンテナを張って来るか、ただお昼を食べればいいのか。この50回の繰り返りで相当差が出て来ます。ただ何十年居るからではなく「蒔いた種が生える」「因縁因果」ですから、50回の例会に来るのなら絶対アンテナを張って来て頂きたい。そのために良いプログラムを組んで頂きたい。

SAAさん、生き生きした環境を作るということは非常に良いことです。良い習慣を作るため、会場に入る時には挨拶をしましょう。「あ、温かい気持ちで、「い」一言入魂、「さ」先にしろ、「つ」続ける、です。機嫌がいい時、悪い時も続けることです。昨日の朝霞クラブでは最後に会員同士で輪を作り、その中をくぐって帰りました。そうやって見送られたのですが「ああ、こういう歓迎の仕方もあるんだな」と思いました。富士見クラブでは来たときに皆が握手している。例会会場に来たら1日5人以上と握手して認め合おうということだそうです。「これも一つのSAAの考え方だな」と思いました。

ロータリーの事業はどうしても“ロータリー流”になってしまって、メディアが来て記事を書いてくれません。ただ、今年5月の日光街道杉並木の植栽記事はまったく見事でした。新聞各紙埼玉版の3分の1から4分の1のスペースに載りました。我々が雨の中、植栽したわけです。環境に優しい花粉の少ない苗ということで許可になりました。“拡大ロータリークラブ”RC+ ということで、地元

自治会、商工会、商店街、何でも結構です。そういうところと一緒に1つの社会奉仕をする。そうするとそこで顔を合わせた人が「ロータリーというのはそういうのを企画してやるんだな」とロータリーを認めてくれ、結果的に会員増強になります。あるいは飯能だけで出来ないことは近隣クラブで手を取り合う。河川浄化もそうです。下流部をいくらきれいにしても上流部が

きれいにならなければ駄目なわけです。植栽事業は地区予算20万円位でしたが、鶴ヶ島、坂戸、坂戸さつき、日高、川越西と一緒に地元の並木保存会の人達と百何十人で「秩父の森」の前にやりました。そうしたら記事になった。面白いことにその記事の隣に小さく「上田知事、千人集めて秩父で植栽事業」とありました。ロータリーの事業がこれだけ大きく写真で載ったのは初めてですよ。ヒットする事業なら呼ばなくてもメディアは来てくれる。広報活動は陰徳も必要ですが、PRしなければいけないものもある。「青少年交換」「新世代」等もそうです。「WCS」では分かりませんから、本庄や川越、深谷では自治会連合会と一緒に「ネパールに学校を建てるため、読み書き出来ない子どものために使われます。あなたの机の中に眠っている書き損じ葉書を出して下さい」等の案内パンフを作り、回覧板で配るわけです。1月末に回収すると1万枚位集まる。これを換金して45万円。本庄も5年間それを続けて学校が出来た。学校が出来たら写真を入れて「市民の皆さんたいへんお世話になりました。皆さんのお蔭で5年かけてこういう学校が出来ました」というPRが出来るわけです。

先程、「報告がない」という話も聴きましたが、実際には全部、報告をしていますので、是非「友」や「月信」を見て頂きたいと思います。なるべく早く私共も情報を出すようにしております。2か月目のガバナーで、生意気な事は言えませんが、皆さん方から頂きました意見は十分反映させて頂き1年間頑張っていきます。ご支援を頂きながら、この第2570地区が次なる1世紀に生き残るために頑張っていけますので、よろしくお願い致します。

5. 閉会のことば 木川一男会長

第2350例会
9月2日(1、水)
当番 増島君、間瀬君

卓話「スポーツを通じての青少年育成」

中央工学校教諭 一級建築士事務所長
市野彰俊様